

校長室だより～和光高校今昔 第28号 H26.11.14

埼玉県立和光高等学校 校長 村田 進

「文化的行事」についての考察

芸術鑑賞会等呼び方は様々であるが、高校生にとって文化芸術に親しむことは大変有意義なことである。和光高校でも開校6年目に当たる昭和52年から今日までその歴史を紡いでいる。実は昭和52年は「6周年校舎落成記念式典」が実施されており、開校以来待ちに待った体育館が完成した年であった。1回目となる「文化的行事」（まだその名前は付けられていないが）の観劇は真新しい体育館のお披露目を兼ねた、多分に祝賀的意味合いを含めていたはずだ。かくして和光高校の「文化的行事」はやや遅ればせながらスタート

を切り現在まで続いている。余談雑感になるが「芸術鑑賞会」という名称はいかにも大上段から「しっかり見ろよ」となかば強制感も漂わせるが、和光高校の「文化的行事」のネーミングは程好い「さりげなさ」において秀逸である。文化に加え『的』が付け加わっているのもいい感じだ。学校行事に果たす文化の役割の本質を適切に捉えていると思う。

さて、40年に渡りその演目は大きく『演劇』→『音楽』→『その他（古典芸能など）』の3サイクルで運用されているようだ。3年間の高校生活の中で3ジャンルを網羅しようという事だろう。そして統括分掌は当初は「図書館部」、少人数の分掌であったため企画運営には苦勞を伴った。学校要覧を見るとかつての図書館部の仕事の第一に「選定委員会」と

記されている。この選定は「本」ではなく文化的行事の「演目」に掛かっている。後年になり図書館部は教務部に吸収される形となり、分掌内分掌の文化的行事係がその任を負っている。とりわけ開校40周年記念行事となった3年前は、中国雑技団の演技の鑑賞が企画され、費用規模ともかなりの準備を要した。なかなか生で見ることのできない演技に生徒たちは感嘆の声しきりであったと聞く。



今年実施された「和太鼓『ひむかし（影向舎）』」の演奏はとても素晴らしかった。力強さと繊細さの調和は深く生徒の心に刻まれたことと思う。日頃から文化に関心を持つと同時に生徒理解を深めていないとこのように良い選択はできないのだ。特に最近、ミュージカルしかも人気の劇団四季公演に拘っている。料金や雰囲気、5千チケットを取る難しさなどなかなか敷居の高い催しであるが、その内容はまさに日本が誇る文化であろう。3年に1回のサイクルであるが高校時代に「本物」に触れることは極めて意味深いことと考える。



【資料】文化的行事一覧

年度	実施月	タイトル・出演等	ジャンル	場所	備考
52	12月	「どん底」・芸術劇場	演劇	体育館	
53	12月	「岩窟王」・劇団顔	演劇	不明	
54	11月	『幸せの黄色いハンカチ』	映画	体育館	文化的行事の名称初使用
55	2月	『アラビアのロレンス』	映画	埼玉会館	3年生を送る会と併設
56	7月	「町人貴族」・劇団芸術劇場	演劇	体育館	10周年式典を秋に挙行
57	11月	わらび座公演	舞踊・合唱	体育館	
58	11月	学校寄席(桂小南・桂文朝など)	落語	体育館	
59	11月	寺内タケシとブルージーンズ公演	音楽	体育館	
60	11月	「スカパンの悪だくみ」・不明	演劇	体育館	午前午後の二部
61	6月	学校寄席(春風亭柳昇など)	落語	体育館	
62	11月	「少年とラクダ」・不明	演劇	埼玉会館	
63	12月	「ザ・チーム」・不明	演劇	大宮市民会館	
元	12月	わらび座合奏団	音楽	大宮市民会館	
2	12月	「銀河鉄道の夜」・不明	演劇	埼玉会館	
3	11月	「ジャズに親しもう」・ブルーコーツ	音楽	埼玉会館	
4	11月	ニューヨークスクエアコンサート	音楽	埼玉会館	
省略					
12	11月	「鼓舞」・韓国舞踊団	舞踊	和光市民文化センター	
省略					
21	11月	「ライオンキング」劇団四季	ミュージカル	劇団四季劇場	
22	11月	『スタンドバイミー』	映画	体育館	
23	12月	中国雑技団	雑技・曲芸	サンアゼリア	40周年記念事業
24	11月	「美女と野獣」劇団四季	ミュージカル	劇団四季劇場	
25	10月	紙工劇	切り絵	体育館	
26	10月	「ひむかし」和太鼓	音楽	体育館	

さて、次年度の演目は前年度公演が終わった直後からその選定に入る。平成27年は3年に1度の開催年に当たっている。非常に楽しみな提案がもうすぐ係からあるはずだ。